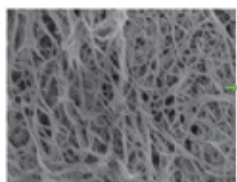
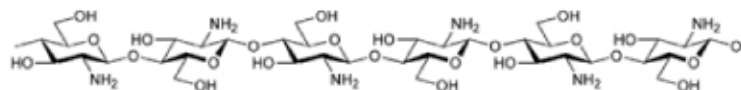




キトキトは、  
ヒドロキシプロピルキトサン、ナノ化キトサン（保湿・補修成分）を配合した酸性リンスです。  
「擬似キューティクル形成、残留アルカリの除去」を行うことが役割です。

### 擬似キューティクル形成のメカニズム

キトキトに配合している2種のキトサンのうち、1つはキトサン誘導体（ヒドロキシプロピルキトサン）で、分子会合しながら髪表面の大部分に皮膜を作ります。  
もう1つはナノ化キトサンで、直径約20nm、長さ数マイクロの**ナノファイバー**です。  
ナノ化キトサンは、分子が会合せずに**分散している**ため、**比表面積が従来のキトサンの100倍以上増加**しています。これがキトサン誘導体にグラフトして立体的に擬似キューティクルを形成すると考えられます。



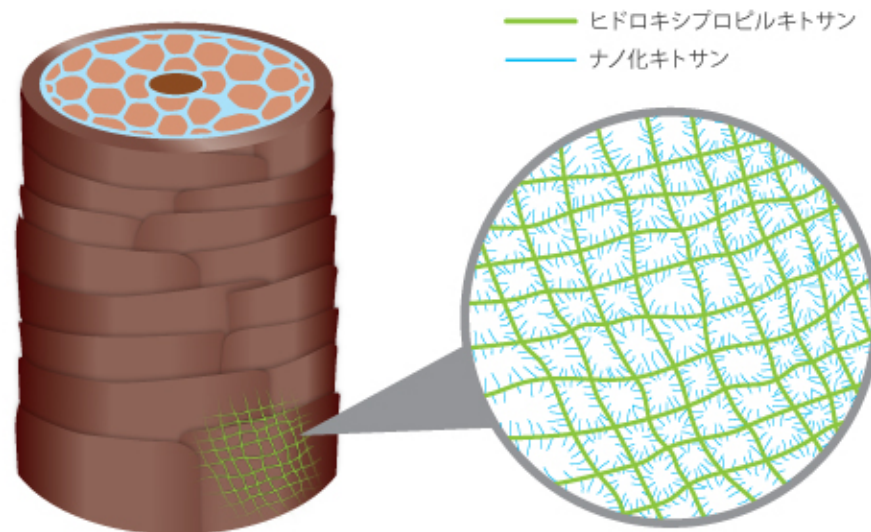
ナノファイバーなので、  
3次元的な擬似キューティクルを  
形成し、静電気を抑える。

キトサンは脂との相性が良く、キトサンで形成した擬似キューティクルの上に18-MEAなどのキューティクルCMC成分がのることで、毛穴から出た皮脂を毛先まで伝わせる**「脂の通り路」**が作られます。  
これにより髪本来の自然なツヤが生まれます。

キトサンはプラスの電荷を持っていますが、分子が分散することで本来のこの力が最大限発揮されるため、ダメージ毛に特異的に吸着して水分子を抱えこむことで、**静電気の発生を予防**します。

さらに、キトサンの親水性がさらに高まっているとともに、水中で**3次元に絡み合う**ことで、キトサンがキューティクルにイオン結合して**呼吸できる皮膜**を形成します。  
この皮膜は浸透性があるため、トリートメント剤などの邪魔をしません。

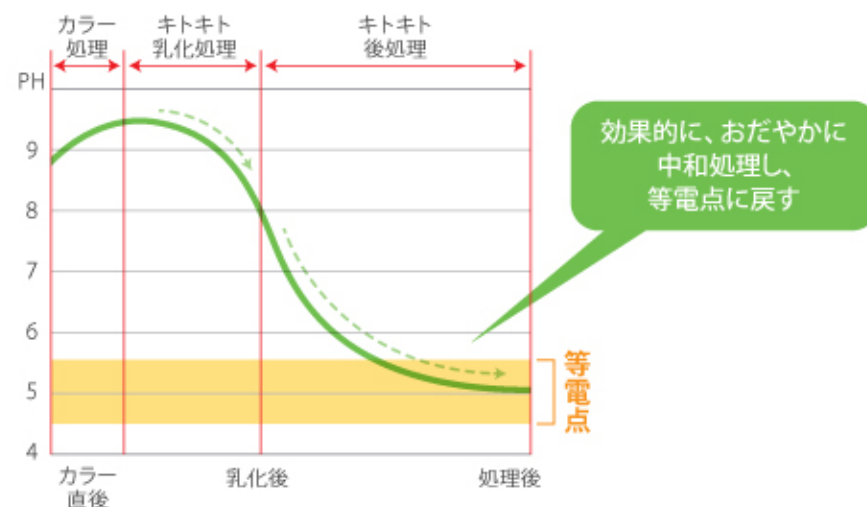
### キトキトによる擬似キューティクル形成のイメージ図



## 酸性リンスとしての効果

クエン酸、リンゴ酸、乳酸の3種類の酸が、残留アルカリの除去を効果的に行います。また、クエン酸ナトリウムを配合してバッファー効果をもたせたため、アルカリ除去の際のpH変化が穏やかになり、急激なpH変化による髪のダメージを軽減することができます。中間処理、後処理で髪のダメージを抑え、かつ、髪のダメージの元となる物質を効果的に除去することが可能です。

## カラー後のPH変化(キトキトによる乳化処理+後処理)



## 成分について

### ヒドロキシプロピルキトサン・ナノ化キトサン

カニの甲羅などから得られる天然のポリマー。擬似キューティクルを形成し、毛髪内部のタンパク質や天然保湿因子NMFが流出しないようにコーティングします。毛髪をダメージから守り、ツヤを与えます。



### リンゴ酸・クエン酸・乳酸

酸としての能力が高いクエン酸・リンゴ酸と、葡萄などの果物に含まれるフルーツ酸 (AHA) の一種である乳酸を配合しました。パーマ・カラー施術後の残留アルカリを除去し、アルカリに傾いた毛髪を等電点に戻します。



### キダチアロエ葉エキス

ユリ科の植物、キダチアロエの葉から抽出したエキスです。アロエは古くからやけど、擦り傷、切り傷、日焼けによる炎症などの治癒・改善作用があるといわれているほかに、肌にうるおいを与える保湿作用にも優れていることが知られています。保湿効果があり、肌荒れを防ぐ目的の化粧品などに使われています。



### ■ キトキト

種類	ヘアトリートメント	剤形	淡黄色～黄色の澄明な液体
pH	3	使用シーン	中間処理、後処理
容量	400g	使用方法	目安として5～10倍に希釈して使用